



研修会に参加した方の 感想の一部を紹介します

こども教育研修会

〈第1回〉 5月26日（金）
写真による事例研究
「遊びの中で必要な経験を見取る」
講師 渡邊 俊先生（幼児教育アドバイザー）

- ・1枚の写真から、子どもたちが保育の中で経験していることについて読み取ることができました。
- ・「遊びの中で育つ」ということ、「環境」の大切さについて、再認識することができました。

〈第2回〉 6月9日（金）
協議と講話「保育の中で協同する経験」
～映像から保育を見る～
講師 大島 みずき先生（幼児教育アドバイザー）

- ・「共同に向かう姿」を、その子の発達段階に合わせて見つめていくことが大切だと思いました。
- ・友達と遊ぶようになるために、まずは、一人で安心して遊び込む姿を支えたいと思いました。友達の様子を見る姿も、大切に見守りたいと思います。

〈第3回〉 6月22日（木）
講話
「幼児の心と体の発達に必要なこと」
講師 奥野 みどり先生（幼児教育アドバイザー）

- ・保育の中での必要な支援、言葉がけなどのポイントを聞く事ができて、とても参考になりました。
- ・子どもの成長を、保護者と一緒に振り返ることができるよう支援していきたいと思いました。保護者の悩みに共感しながら寄り添っていきたいです。

〈第4回〉 8月22日（火）
グループワーク研修
「言葉による伝え合い」
～豊かな言葉や表現のために～
講師 田子 文子先生（幼児教育アドバイザー）

- ・「子どもたちから出てくる言葉で、自分の保育を見つめ直す」という言葉が心に残りました。
- ・世代や所属（保・幼・小）の違う人達と意見交換をすることができ、参考になりました。今後、職場でも自分から発信していきたいと思いました。

〈第5回〉 10月5日（木）
講話・演習
「保育の中の気になる子」
～こんなとき、どうしよう？～
講師 群馬大学教授 霜田 浩信先生

- ・自分の対応の仕方への課題に気付きました。
- ・子どもをほめる時には「〇〇したから△△できたね」というような言葉をかけたいと思いました。
- ・子どもに我慢させて慣れさせるのではなく、その子の「大丈夫」を積み重ねていきたいと思いました。

〈第6回〉 10月19日（木）
講話「未来を創る幼児期の教育」
講師 聖徳大学大学院講師 篠原 孝子先生

- ・遊びの中で、子どもが遊び込むこと、没頭して遊ぶことがとても大切だとわかりました。
- ・子どもが自ら考える力を育てるための、環境や援助をしっかりと考えていきたいと思います。
- ・自分はずぐに子どもに提案してしまうことが多いので、まず見守ることを心がけます。

〈第7回〉11月16日(木)

グループワーク研修

「保護者と連携するということ」

～それぞれの視点から～

講師 横坂 好枝先生(幼児教育アドバイザー)

講師 田胡 敏子先生(幼児教育アドバイザー)

講師 小和田あゆみ先生(幼児教育アドバイザー)

- ・子どもを受容すること、認めること、ほめることの大切さを改めて感じました。
- ・保護者との信頼関係を大切に、日々の子どもの成長の姿を具体的に伝えていきたいと思います。
- ・どの校園所の先生たちも、同じように悩んでいることがわかり、少し安心しました。情報交換ができてよかったです。

〈第8回〉1月25日(木)

事例研究と講話

「子どもの発達を捉える」

～気になる行動と発達特性の関連から～

講師 毛塚 恵美子先生(幼児教育アドバイザー)

- ・他園所の人たちと協議をして、いろいろな立場からの意見や助言がもらえてよかったです。
- ・「子どもの行動には意味がある」「こどもの立場になって考えてみる」「横並びのまなざしで」などの言葉を心に留めて保育したいと思いました。

〈第9回〉2月15日(木)

グループワーク研修「思考力の芽生えとは」

～必要な体験から教材を考える～

講師 田中 輝幸先生(幼児教育アドバイザー)

- ・幼児期には、没頭して遊ぶこと、実際に体験することが何より大切だと思いました。
- ・保育者は大人の思いを先行させるのではなく、子どもを信じて見守ることを大切にしたいです。

保幼小研修会

8月3日(木)

講話「子どもの育ちと学びをつなぐ保幼小連携」

～保幼小をつなぐ生活科の教科特性&

「接続期カリキュラム」の意義と
作成ポイント～

講師 上越教育大学教授 木村吉彦先生

- ・幼児期の教育から小学校の学びへとつなぐ中での、生活科の学習の大切さが具体的にわかりました。また、「遊び」のもつ意義もわかりました。
- ・小学校のスタートカリキュラムの必要性を、改めて強く感じました。
- ・校園所の先生と一緒に研修することが大切です。

市立幼稚園保育研究会

7月7日(金)

公開園 : 前橋市立まえばし幼稚園

研究協議の視点

「幼児が自分なりに考え、

解決しようとするための教師の役割」

指導助言 幼児教育アドバイザー

- ・子ども達が自分から取り組む遊びの中に、いろいろな「学び」があることを感じ取ることができました。
- ・先生は、子ども達が自分で考えたり選んだりして遊べるよう、自分の思いを友達に伝えられるよう、静かに、子ども達を支える援助をしていました。
- ・いろいろな意見交換ができて有意義でした。

【まえばし保育教材展】

すばらしい作品を出品していただき、ありがとうございました！

○岩神保育園

○しゃか保育園

○しゃか第二保育園

○認定こども園あおぞら北

○認定こども園慈照幼稚園

○認定こども園明星幼稚園

○認定こども園山王幼稚園

○前橋市立上川淵保育所

○前橋市立東保育所

○前橋市立南橋保育所

○前橋市立芳賀保育所

○前橋市立下川淵保育所

○前橋市立細井保育所

○前橋市立荒砥保育所

○前橋市立粕川保育所

○前橋市立富士見保育所

○前橋市立まえばし幼稚園

○前橋市立おおご幼稚園

○前橋市立宮城幼稚園

○明和学園短期大学

○群馬医療福祉大学

○群馬パース大学福祉専門学校

「学びのつながり報告書」

平成29年度版ができました！！

前橋市では、市内すべての保育園、保育所、認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(145校園所)が18の地区ブロックに所属して、保幼小連携にかかわる活動を行っています。

今年度の各地区ブロック代表校園所からいただいた活動報告書を、1冊にまとめました。